

会議録

会議の名称	令和7年度第2回川越市立学校給食センター運営委員会
開催日時	令和7年12月16日(火) 10時00分 開会・11時30分 閉会
開催場所	川越市立菅間第二学校給食センター 2階会議室
議長(会長) 氏名	会長 原 江理子
出席者(委員) 氏名(人数)	米塚貴洋 吉川恭子 吉田朋矢 遠藤美彩希 田村智子 小俣和広 長岡聰司 (7名)
欠席者(委員) 氏名(人数)	田川一義 大室博 尾関哲也 丸山浩 西村早苗 (5名)
事務局職員 職 氏名	学校教育部長 西貝俊哉 学校給食課長 宮沢茂(欠席) 副課長 石川宣明 菅間学校給食センター所長 佐藤俊一(欠席) 菅間第二学校給食センター所長 石倉照久 今成学校給食センター所長 山本勇志 学校給食課副主幹 畑谷貴幸 主査 松栄睦美 主査 落合功二 主任 関根健人
会議次第	1 開会 2 委嘱式 3 自己紹介 4 会議 <ul style="list-style-type: none"> (1) 正副会長について (2) 学校給食事業について(概要説明) (3) 学校給食費について 5 報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 学校給食アンケートについて (2) その他 6 閉会
配布資料	第2回 川越市立学校給食センター運営委員会次第 川越市立学校給食センター運営委員会委員名簿 資料(令和7年度)6月補正予算について 学校給食事業の概要 学校給食費について アンケート結果

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会
学校教育部長	2 委嘱式 —委嘱書の交付— —学校教育部長の挨拶—
委員	3 自己紹介 — 委員より自己紹介 —
事務局	—事務局職員紹介—
事務局	4 会議 それでは、会議を開催させていただきたい。会議開催にあたり、2点報告がある。1点目が、当運営委員会は「川越市附属機関等の会議の公開に関する実施基準」により原則公開となっている。2点目が、本日は委員13名中8名が出席し、欠席は5名となっており、過半数が出席しているので本会議は成立している。 —配布資料確認—
事務局	(1) 正副会長について それでは、会長、副会長の選出を行いたいと思うが、選出されるまで仮議長を選出して進行したい。仮議長には、運営委員会規則第2条における第1号委員の米塚委員にお願いしたいが、いかがか。
委員	— 異議なし —
事務局	それでは、米塚委員に仮議長をお願いしたい。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
仮議長	仮議長に選出された米塚である。しばらくの間、仮議長を務めさせていただきたい。それでは早速、会長、副会長の選出を行いたい。事務局から説明をお願いしたい。
事務局	運営委員会規則第3条に「委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」と規定されている。
仮議長	選出方法について、委員から意見があるか。
委員	これまでどのように決めていたのか。
事務局	過去の記録では指名選出の方法で選出していたようである。例年だと会長はPTA連合会の代表、副会長は学校長の食育研究会の代表から選出していた経緯がある。なお、本日は食育研究会の田川委員は欠席である。
仮議長	ただ今、事務局より過去の選出方法について説明があったが、他に案がない場合は、同じ方法としたいが、いかがか。
委員	—異議なし—
仮議長	会長に川越市PTA連合会の原委員、副会長に食育研究会の吉田委員を選出する。
委員	—異議なし—
仮議長	それでは会長に原委員、副会長に吉田委員で決定したので、仮議長の任を解かせていただく。
会長	—会長挨拶—

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>(2) 学校給食事業について (概要説明)</p> <p>—資料「(令和7年度) 6月補正予算について」「学校給食事業の概要」に基づき説明—</p>
会長	ただ今、事務局から説明があったが、質問や意見等はあるか。
委員	ただ今、説明があったアンケートについて、令和6年度は「給食がおいしいと感じている児童生徒の割合」が下がっているとのことだが、これは年々下がる傾向にあるのか。
事務局	アンケートは小学6年生と中学3年生を対象としており、聞き方としては6年間または9年間を通じて給食がどうだったかと質問している。小学校ではおいしいと言う児童が多い一方で、中学校は好き嫌いがはつきりしてたり、食べないものは食べないという姿勢が強く、また中には太りたくないと考えている人もいるため、小学校より低い傾向にある。また、令和6年度は3学期に食材の工夫を行ったり、お楽しみ給食を抑えたりしたことも影響していると思われる。これを実施した3学期にアンケートを取ったことで数値が落ちている可能性もある。
委員	令和7年度は補正予算を組んで対応したのだから、今後は上がっていくという認識でよいか。
事務局	令和7年度は、お楽しみ給食を提供したりして、以前の数値に近づくよう給食の充実を図っていきたい。
会長	<p>(3) 学校給食費について</p> <p>続いて、(3) 学校給食費について、事務局から説明をお願いしたい。</p>

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議題・発言内容・決定事項
事務局	一資料「学校給食費について」に基づき説明—
会長	ただいま事務局から説明があったが、質問や意見はあるか。
委員	<p>自分には4人の子どもがいる。今年の1月に物価高騰の影響でお米が少なくなったことがあった。その際、中3の息子が「8年間、給食を食べてきたから分かるけど、絶対にお米の量が少なくなっている」と言っていて、それを機に今回公募に応募させていただいた。子どもは高階中学校に通っているが、その高階中学校で給食についてのディスカッションも行った。約20名が参加したが、その際に保護者から「現状の給食費ではお金が足りないため、子どもたちはもっと食べたいと思っているのに食べられない状況になっているのではないか。もっと給食費を払ってもいいから、食べさせてほしい」という意見が多く寄せられた。給食費を値上げすることに対しては「仕方がない」と思っている家庭が多いのではと感じている。また、お米についてだが、先日、新座市の川村議員と会ったところ、泉大津市の南出市長が給食に力を入れているとのことだった。お米の精米の仕方により、白米ではなく金芽米といって、玄米から栄養を残す剥き方をしたものが財源など大変だと思うが、同じお米を使いながら栄養価を残して提供する方法もできるのではと思った。新座市の川村議員によれば、川越市はそれができる施設があるとのことだった。泉大津市では、そのお米を妊婦に配る施策を実施した結果、生まれてくる赤ちゃんの体重が増加したり、インフルエンザの罹患率に好影響があったとのことだった。データも示されており、こういったことをお金をかけずにできる方法があればよいと思った。</p>
会長	他に質問や意見はあるか。
委員	牛乳についてだが、アンケート結果を見る限り、「だいたい全部飲んでる」「今までよい」という回答が過半数となっている。自分の子は小学4年生だが、学校では極力残さないようにと言つてはいる。ただ、牛乳が苦手な子が多いと聞

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議題・発言内容・決定事項
	<p>いているので、お腹の調子が悪いときは残してよいと言っている。牛乳は捨てる場所があつて捨てていると聞いているが、食材費における牛乳の占める割合は高いと思っていて、越谷市では牛乳を飲みたくない子は飲まなくてよいということになっており、飲まない分は減らしている。また、牛乳の分の給食費は払わなくてよいことにしていて。このため、牛乳を減らすことも可能ではないかと感じている。飲んでいるという意見が多数だが、メニューにあるから飲んでいるだけで、できれば飲みたくない子どももいるのではないかと思われる。アンケートも小学6年生と中学3年生だけということで他の学年は分からぬわけなので、今後確認する機会があれば、確認していただきたいと思った。</p>
会長	<p>昨年度も量が足りないことについて話が出たが、どこどこは残食があるとのことだったり、いろいろと問題があるという認識でいる。最終学年の小学6年生や中学3年生は大胆な回答をする子もいると思われ、他の学年の子のアンケートもあつたら良いと思った。</p>
	<p>5 報告</p> <p>(1) 学校給食アンケートについて</p>
会長	<p>次の報告に移る。学校給食アンケートについて、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>—資料「学校給食費について」に基づき説明—</p>
会長	<p>今の事務局からのアンケートの説明について、質問や意見はあるか。</p>
事務局	<p>事務局からだが、食材費の設定を高くすべきという動きがある中で、傾向としては上がっていくものだが、これについて委員の意見を確認させていただきたい。</p>

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議題・発言内容・決定事項
会長	事務局から説明があったように、給食費を改定することについて了承いただけ るか。
委員	— 異議なし —
会長	他に意見や質問があるか。
委員	牛乳の量についてだが、今まで小学校 6 年生にはスポーツ牛乳という 250ml を出していたが、現在は 1 年生から 6 年生まで同じ 200ml の量に変わっている。 変えた理由は何か。食材費の高騰により減らしたのか。
事務局	牛乳の件だが、確かに小学校 5 年生以上の児童には夏場には 250ml を提供して いた年もあったが、全体の献立のバランスを考えた結果、栄養価を充足したうえ で夏場も 200ml で提供している。 また、中学校については、特に食育や年間計画に基づき、6 月・7 月・9 月は、 鉄分やカルシウムを多く摂取することを意識した献立を組んでおり、6 月・7 月・ 9 月に 250ml を提供している。
委員	残っているという状況から牛乳を 200ml 以下にすると栄養価的に問題があるの かもしれないが、この間、試食会に参加した。その日の献立は牛乳が合わないメ ニューとなっていて、食べ終わった後に牛乳を飲むことになった。献立に応じて 別の飲み物を提供することも検討していただければと感じている。また、アンケ ートの回答結果についてだが、回答者が約 4 千人とのことだが、回答率はどれく らいだったのか。
事務局	小学校 6 年生と中学校 3 年生の保護者を対象に行ったが、1 学年で約 3 千人程 度いるため、6 千人のうち 4 千人が回答したと考えると、比較的高い回答率だっ たと思う。「すぐーる」という学校が保護者に連絡するスマホアプリを通じて実

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議題・発言内容・決定事項
委員	施した。
会長	「すぐ一る」であれば、すぐに回答しなければ他の連絡の中に埋もれてしまうため、期限を短めに設定することで回答率が上がると思う。
事務局	私の質問だが、夏場に増やした牛乳は残ってしまうことが多かったのか。
委員	アンケート結果によれば、大体の人は全部飲んでいるが、約1割は飲まずに廃棄処分するか資源化する処置をとる状況が続いていると思われる。
会長	給食の時間について伺うが、アンケート結果では小学6年生と中学3年生から「ちょうどよい」という回答が半分程度で、「とても長い」「長い」の回答がほぼ無く、残りが「短い」「とても短い」となっており、このことが、残食につながっているのではと感じた。自分のイメージでは、時間が短いと、噛めないから牛乳を使って流し込むという食事になっていないかと考えてしまう。学校によって異なると思うが、タイマーを使って残り時間を表示したり、先生たちも時間が無い中で工夫しているとは思っている。ただ、噛まずに食べると消化不良を起こすことにつながり、午後の授業に影響するのではないかと不安を感じた。学校で時間を確保することは大変かもしれないが、食べる時間の確保は必要だと感じた。
会長	自分も子どもが4人いるが、給食と体育のためだけに9年間学校に通っているような状況なので、保護者の意見をもっと聞いてほしいと思う。自分の子供は給食をほぼ残さず食べており、お代わりを楽しみにしている。子供が席替えの件で怒って帰ってきたことがあり、「嫌いな人が隣になったのか」と尋ねたところ、「配膳まで遠いからお代わりが間に合わない」と答えたことがあった。
会長	先生方は質問や意見はないか。

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議題・発言内容・決定事項
委員	本校では準備と片付けも含めて給食の時間を 40 分としている。低学年は準備と片付けに時間がかかるため、授業を早く切り上げたりする工夫もしている。食べる時間は正味 20 分から 25 分程度である。最初の 10 分間は「もぐもぐタイム」というものを設け、食べることに集中してもらい、味を確かめながら食べましょうということでおしゃべりは禁止としている。その後は友達と話しながら食べてよいこととしている。このことで、きちんと栄養がとれるようしている。
委員	中学生は、小学生よりもてきぱき動けるため、給食の時間は確保できていると思う。楽しく会話できるよう、グループごと、または班ごとに机を配置しているが、クラスを回っても食べているときに話している生徒はあまりいないようである。お代わりは担任が生徒にお玉を持って分けている光景が見られるので、てきぱき感があり時間的余裕は感じている。
委員	小学校では、限られた時間の中でどう工夫するかが課題だと思う。4 時間目が体育の場合、体育の授業前に机を給食を食べる班ごとにセッティングしたり、給食当番の児童が先に教室に戻ったりして工夫をしている。食べるときは、「もぐもぐタイム」で初めは音楽放送を聞きながら集中して食事している。配膳も各自の量を調整したり、お代わりしたい子には量を増やしたりして残食を減らす工夫もしている。短いと感じている生徒が多いというのは実感として持っているので、学校に持ち帰って考えたいと思う。
会長	てきぱきできるように小学校も中学校も工夫しているとのことで、コロナの名残で話をしないように、黙々と食べる時期があったため、短縮が少しは出来ていると思う。しかし、食べられない生徒がいる点については考えなければいけないと思う。
委員	学校の方でいろいろと工夫していただいていることに感謝する。先生方から見て、時間が足りないと感じているか。

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議題・発言内容・決定事項
委員	献立によって異なる。カレーライスのようにすぐに食べられるものもあれば、パンに挟むメニューの場合は、低学年の子の食べる時間が延びる。
委員	大人の休憩時間で考えると、普通は昼休みは1時間なので、40分では短い感覚がある。
	(2) その他
会長	それでは、次に (2) その他に移りる。
事務局	広報川越の12月号に高階小学校の食育の様子が載っているので、ご覧いただきたい。
会長	議題はすべて終了した。進行を事務局にお返しする。
事務局	次回の委員会は2月上旬を予定している。今回は急に開催することとなり、大変ご迷惑をおかけした。次回は余裕をもって開催日をお伝えするようにしたい。
	6 閉会